

「あなたとつながる医療の今を発信」

13
2018年

こがねつと。

古賀病院グループ 広報誌

ご自由にお持ち
ください
TAKE FREE

「正しく知る」ということ 「食事のお話」

栄養管理＝食事は治療の土台づくり。

クローズアップ!

人間力

How do
When ?

「正しく知る」ということ

「消化器のがんに関するお話」

口から、
肛門までが
消化器です。



口から、 肛門までが 消化器です。

2018年3月より新古賀病院の
本館に開設した「消化器病センター」。
消化器内科と外科の診療室が隣接し、
連携をとりながら
効果的な診療を目指しています。

消化器病センター
Gastroenterology and Hepatology center

消化器内科

消化器外科

中村弘毅 + 高尾貴史

「正しく知る」ということ

「消化器のがんに関するお話」

gastroenterology

消化器内科

中村弘毅先生に
お聞きしました。

消化器のがんは、
早期の症状が
ほとんど出ない。

「消化器」がどの臓器を指すのかと
いうと、食べたものが消化される過程
で通る「口から肛門まで」すべてが消
化器です。外来の患者さんが症状を
訴えることが多い臓器は、食道・胃・
十二指腸。あとは肝臓・胆のう・膵臓、
また下痢や腹痛などの症状では大腸
などです。

がん(悪性腫瘍)の場合は、多くの
方が症状が出てから来院されますが、
その4割は、既にながひびく悪化し
た状態でいらっしやいます。胃がんや
大腸がんなど、消化器がんの場合は、
早期で症状が出ることはほとんどあ
りません。



NAKAMURA + TAKAO

Gas

**予防法がないからこそ、
定期的な検診を。**

症状が出る前にがんを予防できればいいのですが、残念ながら、がんの確実な予防法はまだ存在しません。ですから症状がないうちに検診を受けていただき、早期発見をすることが一番の予防になると考えています。

食事や日常生活というのも「発がん」と深い関係性があります。ご両親ががんを患われている場合は、ご自身も同じような食生活や日常生活を送っていることが多いので、やはりがんに気をつけなければならぬと思います。胃カメラや大腸カメラは、40歳を越えたら受けておかれるとよいですが、先のような場合には、もう少し早く検診を受けてもいいかもしれません。

消化器の病気のうち、潰瘍やがんはストレスでできる場合もありますが、年齢とともに抗えない部分もあると思います。予防について強いて言うなら、アルコールと肥満に気をつけることで脂肪肝や肝臓の病気・膵炎などの予防は可能だと思います。例えば

休肝日を設けたり、酩酊しない程度
のアルコールにするなどですね。

C型肝炎は、

飲み薬でほぼ100%

治る時代に。

C型肝炎が、飲み薬だけで副作用
もなく、ほぼ100%治療できる時
代になりました。私が医者になったの
が25年ほど前ですが、その頃には20%
も治らなかつた病気なので、これは非
常にいいことだなと思います。まだご
自分がC型肝炎ということを知らな
い患者さんも非常に多いので、そうい

う方を治療に導くのも、われわれ消
化器内科の役割です。

肝炎も初期の段階では症状が出ま
せん。肝臓は特に「沈黙の臓器」と言
われるほど症状が出にくい臓器です。
疲れやすい、黄疸が出る、食欲が落ち
るといった症状が出始めたときには、
病気が進行していることが多いです。
肝炎の検査をしたことがなければ、
一度血液検査を。B型肝炎とC型肝炎
の検査をすることも、肝硬変や慢
性肝炎の予防という点ではとても大
切だと思います。

それから、ピロリ菌も除菌ができる
ようになりました。20年前には大勢い

た胃潰瘍や十二指腸潰瘍といった患
者さんが、今ではかなり減っています。
ピロリ菌は胃に住み着く菌で、胃がん
の原因菌です。ピロリ菌を持つ人が必
ず胃がんになるわけではないですが、
胃がんの方にはピロリ菌がいるので、
いるよりはいい方がいいですね。ピロ

リ菌は、呼気検査や、血液検査・尿検
査でもすぐに調べることができます。
ただ、事前に胃カメラで胃炎や胃が
ん・胃潰瘍などの診断がされていれ
ば、検査は保険適応内ですが、ピロリ
菌の検査だけですと保険適応外にな
ります。

消化器のがんは

受診の遅れが、重症化の原因に。

大学病院での研修時代には、内視鏡を使った胃がん・
食道がん・大腸がんの治療を専門にしていました。
当院では、劇症肝炎など重症化するものは、大学病院
と連携をとって治療する場合があります。



気になるときは、
まず相談を。



中村弘毅 (なかむら ひろき)

■新古賀病院 消化器内科

プロフィール

- 日本内科学会総合内科専門医・指導医
- 日本消化器内視鏡学会指導医
- 日本消化器病学会指導医
- 日本肝臓学会専門医
- 日本ヘリコバクター学会H.pylori(ピロリ菌)感染症認定医
- 日本がん治療認定医機構認定医・暫定教育医
- 日本医師会認定産業医

Hiroki Nakamura

一番の治療法は、
早期発見。

例えば、腹痛が一日二日続くという場合に、全員が当院のような総合病院に行かなければいけないかというと、そんなことはありません。ただ、痛みが一週間以上続くとか、食事ができなくてすごく体重が減っているというような場合には、必ず病院を受診した方がいいと思います。年齢は関係ありません。若い人でも、いろんな病気がありますから。

消化器の場合は、少し受診のタイミングが遅れただけで、外科手術ができなくなってしまうなど重症化してしまうということもあります。当院の消化器病センターは同じフロアに内科と外科が隣接していて、すぐに連携をとれる体制をとっています。また、循環器も呼吸器も全て同じ医局(※医師が詰め、医務や研究を行う部屋)なので、多くの専門家が関わることで総合的に患者さんを診ていくことが可能です。

「いつどんな症状があったら病院に行ったらいいのか、おそらく皆さん、すごく悩ましいところだと思います。で



高尾貴史 (たかお たかし)

■新古賀病院 消化器外科

Takashi Takao

プロフィール

- 日本外科学会認定医・専門医・指導医
- 日本消化器がん外科治療認定医
- 日本消化器外科学会認定医・専門医・指導医
- 日本肝胆膵外科学会高度技能指導医

すから、「何か今までと違うなあ、気になるなあ」ということがあったら、まずはご相談ください。消化器の病気が見つからないからといって「何で来たんだ」と言うことはありませんので(笑)。まずは「こういう症状が気になるんだけど」ということでご相談いただければと思います。

年齢をある程度重ねてくると必ず体のメンテナンスが必要になります。ぜひ検診や人間ドックを受診していただき、気になった時には、お気軽に内科にご相談ください。

消化器外科

高尾貴史先生に

お聞きしました。

治療は、
内科と外科の
二人三脚で。

外科は主に手術を行っています。

がんであれば、転移がないなど、ある程度必要な条件に収まっていないと手術はできません。外科だけで手術の

分かりやすい説明、 安全第一の手術を。

必要性を判断せず、まずは手術をするべき症例なのかどうか、内科で診断してもらいます。消化器病センターが開設してから、外来の患者さんへの診療体制はよりスムーズになったと思います。

昔に比べると、病気を早期発見される方は増えましたが、手遅れ間近で初めて受診される方もまだいらっしゃいます。症状があったらどうになぜ(来なかったんだらう)という方も。40代や50代のお若い方でも、市が推奨している検診でもいいので、ぜひ検査してもらいたいと思います。
がんは早期発見をしないとなかなか治りません。どんなに化学療法が

良くなったとしても、手術の道具がよくなったとしても、早期発見に勝るものはないですね。

時代の進歩に合わせて チャレンジし続ける。

患者さんには、できるだけわかりやすい言葉で手術内容をご説明すること、安全な判断、安全第一の手術を行うことを心掛けています。

将来的には現在の腹腔鏡手術の欠点を克服すべく、ロボット手術にも力を注いでいきたい。そうやって挑戦していけるような環境も整えていかなければいけないと思います。新たな方法

当院は、胃がん・大腸がん・直腸など全て受診できます。特に肝胆膵(肝臓・胆嚢・膵臓)系の手術例が多いというのが、一般の病院としては珍しいのではないかと思います。

で、もちろん安全性は確保しながら、いろんなことにチャレンジしていけるようにしたいと思っています。

僕が歳をとっていずれやめるようになったとしても、その後と同じことになったとしても、その後に同じことをちゃんと引き継げる人間を育てていく必要があります。

十数年前に受け入れられなかった治療は今では常識的な治療になって

いますから、今後もどんどん、加速度的に変わっていくでしょう。いろんなものに手を出す、という言葉は悪いですが、チャレンジを続けていかなければと常に思っています。

当院は、どんな診療でも広く全部受け入れる。断らない。というのが基本なので、どの領域でもスペシャリストになれるように精進していきたいですね。



患者さんの体づくりと
よりよい治療効果を
上げるために。

消化器は「食べ物が通る道」です。食事の影響をダイレクトに受けますので、毎日の食べ物の内容が非常に重要となります。栄養管理課では、胃潰瘍の患者さんや便秘の患者さんなどに對して、食材の選び方や調理の仕方
のアドバイスをしたり、消化器を切る

手術をされた方などに対しては、臓器に負担をかけないような食事方法の指導などを主に行っています。

栄養管理というのは、患者さんに対する治療の土台を作るものだと思います。疾患の治療方法は外科や内科でいろいろと違いますが、患者さんの栄養状態が良くないと治療の効果も出にくいですし、特に外科手術後の場合は、食事の仕方によっては合併症が起きることもあります。そう

いった患者さんの体づくりと、よりよい治療効果をもたらすための方法として、栄養管理があります。

わかりやすく、
自宅でも実践しやすい
指導を心掛けています。

消化器に炎症のある患者さんであれば、炎症を抑えるために消化の良
い、負担の少ないような食形態にし

す。ですが、患者さんからすれば「消化のいいもの」などと言われてもピン
きませんよね。できるだけ具体的な食
材で示して、家に帰っても実践しやす
いようなアドバイスを心掛けています。
胃潰瘍という病気は共通だとして
も、その病気になる背景は個人で違
いますし、食生活も一人ひとり異なり
ます。栄養指導をするときには、まず入
院される前の食生活をしっかりと
伺って、それを踏まえた上で、患者さ
んの生活により則した内容でお話で
きるようにしています。

栄養管理

「食事は

「正しく知る」
「ということ」

「食事のお話」

栄養管理課では、

『安心安全な食事提供と

栄養指導、栄養管理の充実により、

人々の豊かな生涯を支援する』を

部門の目標に掲げ、

日々業務に従事しています。

疾患に合わせた
食事療法を学び
日々、自己研鑽。

病院で働く栄養士は「臨床栄養学」
を学んでいます。今回は消化器のお話

治療の土台づくり。





Kie Hirayama

平山貴恵 (ひらやま きえ)

■新古賀病院 栄養管理課



模型を使用して具体的な摂取目安量をご説明します。

ですが、糖尿病の患者さんや心臓・循環器の患者さんも多く、それぞれの疾患に合わせた食事療法を知っておかなければいけません。各患者さんの、病態別の食事管理を勉強して取得できる資格もあります。「病態栄養認定管理栄養士」ですとか、みんな日々の業務の中で自己研鑽として積極的に資格取得に取り組んでいますね。

お食事っていうのは1日3回、毎日摂るものなので、治療やお薬を飲むよりも、一番身近なテーマだと思います。身近だからこそ、それだけに影響が出るものですし、みなさんが悩むところでもあると思いますので、食事のことに関しては、お気軽に相談していただければと思います。





人の命を救う、
すごい仕事をして
いるんだなと思います。

奥園 結 (おくぞの ゆい)
■新古賀病院 臨床工学課

How do

内視鏡検査は ドクターとの2人3脚。

松本 私たちの仕事ですが、出勤したらまず1日の検査予定を確認し、内視鏡業務に使用する装置の立ち上げや正常に動作するかどうかの確認をします。つぎに内視鏡の洗浄に使用する薬品の準備や、検査中に使用する薬品の準備を行います。

患者さんが来院されたら、各検査室の装置に患者さんの情報を入力して、それぞれの検査方法にあったスコープをセッティング、使用前点検をします。検査中は患者さんの状態確認に注意し、より検査を楽に受けていただけるよう声掛けを行ったり、ドクターが使用する薬品や処置具を手渡すなどといった検査介助を行います。また、内視鏡は使用した後の洗浄・消毒をきちんと行わないと次の患者さんに使用できないので、洗浄消毒も大切な仕事です。あとは検査治療に使用する物品の補充や発注作業、事務業務なども行っています。

検査は基本的に午前中が上部消化管



新古賀クリニック健診部は、1階の男女別専用フロアで健診や人間ドッグを実施しており、5階の消化器センターにおいても男女別のフロアで行っています。特に女性受診者の皆様に好評です。

(主に胃)検査の介助で、午後からは下部消化管(大腸)検査の介助を行っています。さらに、現在は内視鏡を使用する治療法がいろいろありますので、早期がんを切除するようなESD、ポリープを切除するEMR、透視下にて治療を行うERCPなどの治療の介助も行っています。

奥園 私は入職して2年目なので、携わったことのない治療には補助として入って、積極的に勉強しています。また新古賀クリニックの健康診断フロアは完全に男女別になっているので、女性の患者さんがいらっしゃるときには、優先して女性の検査を担当しています。

**患者さんにとっては
1回きりの検査かもしれない。**

奥園 私たちからすれば、何回も検査している内の1回ですが、患者さんにとっては人生で初めての、今日で1回限りの検査という可能性もあります。ですから、その1回を安心して受けてもらえるように、丁寧に接することを大切にしています。件数が多くて忙しいときなどは、自分を落着かせて患者さんのことを第一に考えられるように意識しています。

また、私が携わっている仕事は、患者さんの人生を変える出来事のひとつだと思っています。内視鏡検査をすることによって、その方の生死が左右される。そこに立ち会って、ひとつの命が救えたと思うと、自分はずいぶん仕事をしているんだなと思います。

松本 内視鏡業務はチーム医療です。ドクターがいて、看護師がいて、私たち臨床

消化器病センター Gastroenterology and Hepatology center



九州一の
内視鏡検査施設を
目指しています。

クローズアップ!
人間力

工学技士がいて。ですから臨床工学技士の準備が一つ遅れると、そこで待ち時間が発生してしまいます。ドクターがスムーズに検査治療できるようにどうすべきかを重点的に考えて、看護師たちとも協力しながら、仕事の優先順位を決めています。

院外での活動にも
やりがいを感じます。

松本 内視鏡業務に3年以上従事し、内視鏡学会への参加、機器取り扱い講習を

受講し、内科認定医より推薦を受けて試験に合格することで、消化器内視鏡技師という資格が取得できます。当院の臨床工学技士はまず、消化器内視鏡技師の資格取得を目標とし、日々の業務に取り組んでいます。

私は臨床工学技士になって15年になります。ありがたいことに日本の臨床工学技士会の内視鏡業務検討委員会でも仕事をさせてもらっています。今回、内視鏡業務の手本となる指針の作成にも携わりました。全国で8人しか選ばれないなかで選出してもらっているの、そういった院外での活動でもやりがいを感じますね。

自分にはしかなできないことが
もっとあるはず。

奥園 内視鏡室には女性の看護師さんがたくさんいるんですが、臨床工学技士は

When?

松本健太 (まつもと けんた)

■新古賀病院 臨床工学課
●日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡技師

2名しかいないんです。私が臨床工学技士を目指そうと思った理由のひとつが、「女性がしていなさそうな職業」だということ。男性が多くを占めているなかで、どう活躍していけるかを考えています。実際に女性検診においては、私にしかなないことができています。もっとも可能性を広げていきたい。女性の臨床工学技士だからこそできることはたくさんあると思うし、今後も女性がどう活躍していけるかを、まずは新古賀病院の内視鏡業務の中から見つけていけたらと思います。

松本 自分自身のスキルアップはもちろんですが、こうして消化器病センターも開設したので、より発展を願って、天神会の内視鏡検査が九州一になれるように部下の育成も進めていきます。また、委員会でも仕事をさせてもらっているなかで、他院の臨床工学技士の方からもいろいろと相談を受けます。「内視鏡に今後取り組んでいきたいんですけど、どうしたらいいですか」とか。院内に限らず、九州内をはじめ他院にも知識の共有を行っていければいいなと思っています。



内科一般の「なんでも屋」を担う医院でありたい。

地域のかかりつけ医として、安定した医療の提供を目指しています。

基本的に内科全般を診ていますが、専門は呼吸器内科になります。今は地域のかかりつけ医として何でもご相談いただいております、必要であれば専門医や基幹病院をご紹介しています。また退院後に自宅で過ごされている方には、往診も行っています。

特定検診各種やがん検診も可能な範囲で院内で行っています。患者さまの負担がなるべく少ないように、早く変化に気付けるように…そのような考えを常に念頭に置いて診療をします。



天神田中内科医院
院長 田中一三郎

Doctor.

地域連携・患者サポートセンター

地域医療連携部門、入退院支援部門、相談窓口部門、それぞれに地域に密着した連携を目的としています。

当センターでは、医療・介護に関するさまざまなご相談に対応しています。

医療連携部門では、開業医の先生方から紹介状をいただき、患者さんへの外来・入院の予約対応を、医療相談部門と入退院支援部門では、外来や入院における医療福祉・介護保険サービスの内容について詳しくご説明。国がすすめている包括ケアシステムに沿って、在宅への支援を強化し、サポートしています。自宅で病状の管理ができずに入退院を繰り返す患者さんや予定入院の患者さんに対し、入院前から関わり、訪問看護のご利用

新古賀病院においては、呼吸器の先生方と勉強会などでよく顔を合わせませす。紹介状などの紙面上だけでなく、実際に紹介先の先生の性格や顔を知っていると、医師同士の信頼関係を築きやすいので、今後も連携を深めていきたいと思っています。

2018年6月、 久留米医師会の 会長に就任。

2018年6月20日、一般社団法人久留米医師会の会長に就任しました。久留米市には非常に恵まれた医療環境資源があります。それをいかに上手に使うて住みやすい、子育てしやすい地域にしていけるか。医療という観点から「くらしやすい」という街の活性化を、市と一緒にお手伝いできればというのが、医師会として一番の思いです。

久留米市は医療の街です。昔から生活に欠かせない「衣食住」の「衣」を医療の「医」とし、「医食住」の充実した地域づくりに貢献していきたいと考えています。

医療法人正優会 天神田中内科医院

[院長]

田中 二三郎

[住所]

久留米市天神町4-1実吉センタービル4階

[TEL]

0942-38-2360

[診療科目]

内科、呼吸器科、循環器科、消化器科、
リハビリテーション科、小児科

[診療時間]

〈月火水木金〉 9:00~12:30

14:00~18:00

〈 土 〉 9:00~13:00

土曜午後、日祭日休診

vol.
13

あなたのそばに 「かかりつけ医」を。

「かかりつけ医」とは、
風邪や予防接種といった日常的な
診療や健康管理をしてくれる
身近なお医者さんのことです。



It's Family



地域医療連携室を「地域連携・患者サポートセンター」と改めました。現在、新古賀病院本館4Fに設置されています。

やご自宅での生活支援などをご提案しています。

医療機関と患者さんの橋渡し役となり、患者さんを住みなれた生活の場へと導くことが、私たちの役割です。スタッフには医療ソーシャルワーカーと入退院支援看護師も在籍。病棟で経験を積んだ看護師が入退院支援を行うことで、患者さんに寄り添った支援を提供しています。

入退院支援に関しては、現在6人体制で対応を行っており、年間880件程の相談と支援を行っています。お悩みごとがあれば何でも遠慮なく、患者サポートセンター窓口まで足をお運びください。



2019
OPEN
4月(予定)

住宅型有料老人ホーム こがケアアベニュー宮ノ陣 新館 2019年4月オープン予定。

2018年4月13日(金)、住宅型有料老人ホーム「こがケアアベニュー宮ノ陣」新館の着工にあたり、安全祈願祭を執り行いました。

天神会は「人々の豊かな生涯を支援する医療・介護の実現」を理念に掲げ、久留米市において急性期医療から在宅介護まで幅広く支援を行っております。

こがケアアベニュー宮ノ陣は2013年に住宅型有料老人ホームとして、久留米市宮ノ陣に完成しました。宮ノ陣地区に

は、古賀病院グループの施設である古賀病院21、介護老人保健施設こが21があります。これらの施設とともに、今回増築する老人ホームを合わせ、地域住民の皆様の医療・介護面での安心をお届けしていきます。

居室数は現在の77室から、今回の新館で追加される96室を加え、今までの2倍以上の173室となります。天然温泉を活用した広々とした大浴場を備え、施設南側に広がる庭園には季節を感じられる色彩が楽しめるように花木以外に果樹も植栽し、入居者の方へ癒しの場を提供します。

天神会が、久留米広域消防本部より 危険物保安功労者表彰を受けました。

6月4日(月)に久留米広域消防本部管内にて、久留米広域防災協会連絡協議会危険物保安功労者表彰式が行われました。天神会は、地域防災の重要性を深く認識し、地域の災害の未然防止及び防火に貢献したとして、久留米広域消防本部より感謝状を授与されました。



2018年度 第21回天神会医療研究会を開催しました。



6月10日(日)、石橋文化センター大ホールにて『第21回社会医療法人天神会医療研究会』を開催しました。今大会も職員は任意参加とし、古賀国際看護学院2年生60名を含む約600名の参加者が熱心に発表に耳を傾ける自己研鑽の場となりました。

後藤めぐみ大会長(訪問看護ステーションわかくさ)、古賀伸彦理事長の挨拶から始まり、久留米広域消防本部、聖ルチア病院の演題を含む16演題の口述発表に加え、シンポジウムでは北野町の「田中まさはるクリニック」田中政治院長による基調講演『在宅緩和ケアとその実際』を皮切りに医療と介護の立場からそれぞれ4演題の発表が行われ現状と課題に向き合う時間を共有することが出来ました。

平成30年度 入職式が行なわれ、119人が新しく仲間入りしました。

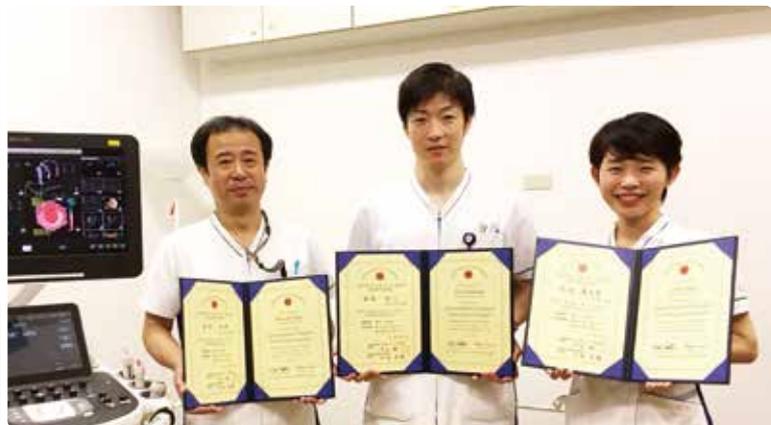
4月2日(月)、2018年度の入職式が、新古賀病院5階の記念講堂で開催され、今年度は、医師・研修医・看護師をはじめとした計119名が仲間入りしました。



平成30年度 古賀国際看護学院の入学式が行われました。



4月5日(木)、10時から平成30年度 古賀国際看護学院の入学式が行われました。開式のことば、国歌斉唱のあとクラスの担任より入学生の紹介があり、薬師寺道明学院長から第3回生60名の入学が許可されました。今回の入学で3学年全てが揃うことになりました。



新古賀病院 臨床検査課 生理機能室の福留裕八技師がスーパーソノグラファーに認定されました。

一般社団法人日本心エコー学会が制度を設ける専門技師認定(スーパーソノグラファー)に、新古賀病院の福留裕八技師が合格しました。この認定は心臓超音波検査に特化した技師に与えられるもので、制度開始から12年、男性の合格者は九州では2人目です。

福留さんは2017年度の合格者4人のうちの1人として、4月に行われた表彰式に出席しました。全国でもトップクラスの

技術を持つ3人のスーパーソノグラファーが、新古賀病院に在籍することになります。

学生の頃から熱い思いを持ち、向き合ってきた生理学の分野で快挙を達成した福留さん。院外の技師や研修医などを対象として、セミナーのマネジメントのお手伝いをしています。「今まで以上にドクターの診療に寄与していければ。また後進の育成・教育にも着手していきたい」と意欲を見せました。

人々の豊かな生涯を
支援する医療

社会医療法人 天神会

KOGA

古賀病院グループ

[新古賀病院]

〒830-8577 久留米市天神町120
TEL: 0942-38-2222(代)



[古賀病院21]

〒839-0801 久留米市宮ノ陣3-3-8
TEL: 0942-38-3333(代)



[新古賀クリニック]

〒830-8522 久留米市天神町106-1
TEL: 0942-35-2485(代)

[野伏間クリニック]

〒830-0058 久留米市野伏間1-9-3
TEL: 0942-26-0066(代)

[辺春診療所]

〒834-0083 八女市立花町上辺春1080
TEL: 0943-36-0010(代)

[古賀国際看護学院]

〒839-0801 久留米市宮ノ陣3-7-47
TEL: 0942-38-3866

[介護老人保健施設 こが21]

〒839-0801 久留米市宮ノ陣3-3-9
TEL: 0942-38-3386(代)

[こがケアアベニュー 宮ノ陣]

〒839-0801 久留米市宮ノ陣4-30-10
TEL: 0942-38-2525(代)

[こがケアアベニュー 野伏間]

〒830-0058 久留米市野伏間1-9-6
TEL: 0942-26-6169(代)

[こがケアアベニュー 大石町]

〒830-0049 久留米市大石町23-5
TEL: 0942-38-3930(代)



「こがねっと。」は国内青竹100%の「竹紙」を使用しています。

こがねっと。vol.13 発行日/2018年7月 発行/社会医療法人 天神会 広報部 制作協力/ダイワインクス株式会社

<http://www.tenjinkai.or.jp/>

